

社会資本総合整備計画

中間評価書

令和08年09月02日

計画の名称	災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）（重点計画）													
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	尾張旭市													
計画の目標	雨水排水施設が整備され、浸水被害等が起こりにくい、雨に強いまちづくりを進める。 上下水道耐震化計画に基づき、西部浄化センターの耐震診断を実施し、必要となる耐震化を行うことで、安全・安心・快適な市民生活の確保を推進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		185	A	185	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R5当初）	（R7末）	（R9末）
1	北原山地区の区画整理に合わせ、雨水幹線、雨水管渠等を整備することにより、同地区の浸水対策実施率を90%（R4末）から95%（R9末）に増加させる。			
	北原山地区の浸水対策実施率 （浸水対策実施済区域面積（ha））÷（浸水対策を実施すべき区域面積（ha））×100	90%	92%	95%
2	西部浄化センター重要施設の耐震化工事に向けた耐震診断を行うことにより、重要施設の耐震診断が完了した割合を25%（R5末）から100%（R9末）に増加させる。			
	西部浄化センター重要施設の耐震診断が完了した割合 耐震診断を行った重要施設数 ÷ 4施設（ポンプ施設、沈殿施設、消毒施設、管理棟）	25%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	尾張旭市	直接	尾張旭市	管渠（ 雨水）	新設	北原山地区（浸水対策）	雨水管 φ1,200～□1,100×1,200 L=207.7m 調整池 N=1箇所	尾張旭市	■	■	■	■	■	64		-
											小計						64		
水道・下水道事業	A07-002	下水道	一般	尾張旭市	直接	尾張旭市	終末処 理場	改築	西部浄化センター地震対策（耐震化）	上下水道耐震化計画に基づく耐震化	尾張旭市			■	■	■	121		未策定
		上下水道耐震化計画策定中（1月末策定予定）																	
											小計						121		
											合計						185		

中 間 評 価

○ 中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制

尾張旭市役所下水道課にて評価を実施

中間評価の実施時期

令和 8 年 8 月

公表の方法

中間評価後、ホームページにて公表する。

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

北原山地区で雨水幹線や雨水管渠等の整備を行い、浸水被害を未然に防止している。
西部浄化センター耐震化工事に向けて、耐震診断を実施している。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

引き続き浸水対策の整備を進め、浸水被害を未然に防ぐ。
西部浄化センター耐震化を進め、災害発生時においても処理機能を確保する。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	中 間 目標値	92%	
	中 間 実績値	94%	
2			
	中 間 目標値	100%	耐震診断すべき箇所が増加し、令和8年度へ業務を繰越したため
	中 間 実績値	25%	